

皆様に納めていただいた税金は、どのように使われたか。

平成28年度に実施した主な事業

総務費

システム管理、防災、徴税などのための経費。

▶ 防災情報基盤整備・運用事業

4億5,496万円

民生費

障がい者や高齢者に対する福祉、子育て支援などのための経費。

▶ 生活保護等扶助費

5億4,687万円

衛生費

保健、医療、環境などのための経費。

▶ 地域医療体制整備事業

(病院への新築補助金など) 3億6,451万円

土木費

道路、橋、河川、公園の整備などのまちづくりのための経費。

▶ 市営第2駐車場の整備に係る経費

6億7,580万円

教育費

学校教育や生涯学習の充実、スポーツ等の振興のための経費。

▶ 小学校施設維持管理に係る経費

3億148万円

※一般会計のほかに、自治体には「特別会計」があります。「特別会計」とは、同じ目的で行う事業を一つの会計にしたものです。一般会計と分けることで収支が分かりやすくなるため、会計を分けています。(下表：主な特別会計)

会計名	歳入決算額	歳出決算額
特別会計		
国民健康保険事業	54億5,473万円	53億1,913万円
後期高齢者医療	4億2,507万円	4億2,338万円
介護保険事業	37億2,143万円	34億9,130万円
農業集落排水事業	2億3,772万円	2億3,270万円
小諸公園事業	1億4,368万円	1億2,464万円
企業会計		
水道事業 収益的収支	10億2,679万円	9億301万円
資本的収支	1億7,469万円	4億2,402万円
下水道事業 収益的収支	12億6,431万円	11億7,088万円
資本的収支	6億3,155万円	10億6,007万円

※企業会計では、資本的収入が支出に対して不足する場合には、減価償却費などの企業内部で留保されている資金などの補てん財源で補てんするものとされています。

歳入総額

179億7,212万円

(市債15億7,543万円万円含む)

歳出総額

169億8,637万円

ということは…

1年間で

約10億円の黒字!?

ここで、市の借金と貯金を見てみると、

※翌年度繰越財源を引くと、実質は5億1,600万円の黒字です。

あれ!?

市債(借金)が増え、 基金(貯金)が減っている!?

下表は、直近5年分の市債と基金残額の推移を表しています。平成28年度の一般会計で約10億円の黒字に見えても借金が 증가していることがわかります。その理由には、毎年の借金返済に必要な額(公債費)よりも平成28年度にお金を借り入れた額の方が多かったためです。簡単に言い換えると、返す額より借りた額の方が多いということです。

一般のご家庭でも、車や家をローンで買った場合は、借金が 増えるのと一緒の考え方です。

